

令和 8 年度 (2026)
土木学会中国支部
総会資料



日 時：令和8年5月20日（水）15：00～16：50

場 所：メルパルク広島（広島市中区基町6番36号）

公益社団法人 土木学会中国支部

令和8年度(2025)土木学会中国支部総会資料 目次

1. 議 題

報告事項

- ① 令和7年度(2025)事業報告 1
 - ② 令和7年度(2025)決算報告及び監査報告 10
 - ③ 令和7年度(2025)支部規程類の制定 16
 - ④ 令和8年度(2026)支部役員 20
 - ⑤ 令和8年度(2026)事業計画 25
 - ⑥ 令和8年度(2026)予算 27
- 2. 令和7年度土木学会中国支部賞 表彰式 (別紙)
 - 3. 令和7年度土木学会中国支部賞受賞講演 (別紙)
 - 4. 令和8年度 特別講演会 (別紙)

参考資料

- 1. 支部会員 28

①. 令和7年度(2025)事業報告

1. 支部総会

- ・ 令和7年度(2025)土木学会中国支部通常総会(2025.5.21)

開催場所:メルパルク広島

参加者:88名

2. 商議員会

- ・ 第1回商議員会(2025.12.5~12.11)

開催場所:書面会議(メール審議)

- ・ 第2回商議員会(2026.2.27)

開催場所:ZOOMオンライン会議

3. 幹事会

- ・ 第1回幹事会(2025.6.14)

開催場所:徳山工業高等専門学校

- ・ 第2回幹事会(2025.10.27)

開催場所:書面会議

- ・ 第3回幹事会(2025.12.18)

開催場所:ZOOMオンライン会議

- ・ 第4回幹事会(2026.2.19)

開催場所:ZOOMオンライン会議

- ・ 第5回幹事会(2026.3.30)

開催場所:ZOOMオンライン会議

4. 四学会災害協定連絡協議会(2025.9.29)

- ・ 開催形態:オンラインweb会議

5. 支部賞表彰委員会

- ・ 第1回支部賞表彰委員会(2025.9.19~9.26)

開催場所:書面会議

- ・ 第2回支部賞表彰委員会(2025.12.19~12.24)

開催場所:書面会議

- ・ 選考委員会(2026.1.19)

開催場所:ZOOMオンライン会議

- ・ 第3回支部賞表彰委員会(2026.2.4~2.12)

開催場所:書面会議

6. 役員選出委員会

- ・支部役員選出委員会 (2025. 12. 24)

開催場所：オンラインweb会議

7. 選奨土木遺産選考委員会

- ・現地調査 (2025. 7. 1)

開催場所：宇都井高架橋 (島根県邑智郡邑南町)

- ・選奨土木遺産認定式 (2025. 11. 22)

開催場所： 邑南町三江線鉄道公園宇都井駅公園 (島根県邑智郡邑南町宇都井1044)

[令和7年度土木学会選奨土木遺産中国支部推薦物件]

『宇都井高架橋』 (うづいこうかきょう)

所在地：島根県邑智郡邑南町

理由：宇都井高架橋は、特殊なジョイントを有する鉄筋コンクリート壁式ラーメン高架橋で、旧・宇都井駅は開業当時、日本一の高さを誇る高架駅であった。

竣工年：昭和49 (1974) 年 (開通年)

所有者	邑南町 (管理：NPO 法人江の川鐵道)
形式	鉄筋コンクリートラーメン橋 (壁式橋脚) (4 径間 2 ブロック)
諸元	長さ 159.0m, スパン 17.00m, 高さ 23.3m
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 47 (1972) 年 10 月 1 日：着工 ・昭和 49 (1974) 年 5 月 20 日：竣工 ・昭和 50 (1975) 年 8 月 31 日：開業 (三江線全線開通) ・平成 22 (2010) 年 11 月：「INAKA」イルミ開始 ・平成 30 (2018) 年 4 月 1 日：三江線廃止 (旅客営業終了は 3 月 31 日) ・令和元 (2019) 年度：JR より邑南町に譲渡 ・令和 3 (2021) 年 4 月：「三江線鉄道公園」として一般公開
評価・特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2 つの 4 径間連続ラーメン橋が、特殊ジョイントを有する 1 つの橋脚でつながっている、めずらしい構造である。この鉄筋コンクリート壁式ラーメン橋は、三江線と篠栗線 (昭和 43 年開業) のみに採用された。 ・1 本に見える橋脚 (P5 橋脚) は、途中から 3 分割されており (特殊ジョイント)、そこで 2 つの連続ラーメン橋の伸縮を吸収している。 ・設計は日本鉄道建設公団下関支社 (井上孝太郎)、施工は大本組。 ・高架橋上に設置された宇都井駅は、ホーム高が基準面 (地表面) より 19.935m にあり、開業当時、日本一の高さの高架駅であった。そのため、「天空の駅」と呼ばれていた。 ・廃止前の平成 22 年から毎年秋に宇都井駅周辺で、高架橋と周辺の田んぼをライトアップする「INAKA イルミ」が開催されている。 ・宇都井駅は、令和 3 年 4 月に「三江線鉄道公園」として一般開放され、NPO 法人江の川鐵道によってトロッキの運行等、様々なイベントが行われている。



宇津井高架橋

8. 支部行事

[主催行事]

A) 支部研究発表会

開催場所：徳山工業高等専門学校（周南市）

○研究発表会（2025. 6. 14）

発表件数：第Ⅰ部門：21件 ・ 第Ⅱ部門：40件 ・ 第Ⅲ部門：40件 ・
第Ⅳ部門：23件 ・ 第Ⅴ部門：27件 ・ 第Ⅵ部門：24件 ・
第Ⅶ部門：7件 合計件数：182件
190名 （28セッション参加延べ659名）

○企業展示（2025. 6. 14） 企業ブース：18社

B) 講演会・報告会・シンポジウム・セミナー他

[主催行事]

- ・「特別講演会」（2024. 5. 22：支部総会）

開催場所：メルパルク広島

演題：気候変動に適應した レジリエントな社会を目指して

講師：（一財）河川情報センター理事長・東京大学名誉教授・

土木学会次期会長 池内 幸司 氏

参加者：88名

- ・令和6年度土木学会中国支部賞受賞講演会（2024. 5. 22：支部総会） 参加者：88名

<中国地方の地域課題の解決に向け取り組んだ業務、または技術の普及に貢献した業務>

（受賞業績）ICT技術を適用した浚渫土砂処分場施工管理技術

（受賞者） 天野産業株式会社

<中国地方に建設された優れた土木施設あるいは構造物の工事>

（受賞業績）島根原子力発電所津波防波壁設置工事

（受賞者） 中国電力株式会社

<土木技術による中国地方の発展に寄与する著しい業績>

（受賞業績）広島港クルーズターミナル整備事業

（受賞者） 広島県 広島港湾振興事務所

- ・「広島県土木建築局長と話してみよう！」（2025. 10. 1） 参加者：11名
開催場所：広島県庁・広島県議会議場
- ・「R7工事報告会」（土木学会担当：山口エリア）（2026. 3. 16） 予定 参加者：126名
開催場所：ZOOMウェビナーオンライン配信
演題①：社会基盤メンテナンスエキスパート（ME山口）養成講座の紹介
講師①：山口大学 教授 吉武 勇 氏
演題②：一級水系佐波川における流域治水の取組みについて
講師②：国土交通省中国地方整備局 山口河川国道事務所 河川管理課長 熊本 勝史 氏
演題③：岩国港臨港道路海上一括架設工事について
講師③：国土交通省中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所 副所長 岡 英毅 氏
演題④：山口県における道路メンテナンスDXと群マネの挑戦
講師④：山口県 土木建築部 道路整備課 主査 吉村 崇 氏
演題⑤：山口県内の高速道路特定更新工事の取組みについて
講師⑤：西日本高速道路（株）中国支社山口高速道路事務所改築第一課長 竹中 清文 氏

〔共催行事〕

- ・「中国地方建設技術開発交流会」（2025. 10. 22～2025. 11. 19） 参加者1,187名
主催：中国地方建設技術開発交流会実行委員会
開催場所：中国各県5回：オンライン
- ・「令和7年度インフラメンテナンス市区町村長会議 中国ブロック会議」（2025. 10. 2）
主催：主催者 インフラメンテナンス市区町村長会議 中国ブロック
開催場所：グラントワ（益田市） 参加者：162名

〔後援行事〕

- ・「災害リスクマネジメント工学市民講座」（2025. 7. 16）
主催：京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻災害リスクマネジメント
工学講座（JR西日本）
開催場所：松江テルサ 参加者：264名
- ・「研究・業績発表会年次学術会議（広島）」（2025. 11. 15）
主催：公益社団法人日本技術士会中国本部
開催場所：広島市文化交流会館
- ・「2025年研究発表会「最新の技術発展に向けて」」（2025. 11. 19）
主催：非営利公益法人統合物性モデル研究組合 参加者：780名
開催場所：岡山国際交流センター 2F 国際会議場&web
- ・「災害リスクマネジメント工学市民講座」（2025. 12. 1）
主催：京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻災害リスクマネジメント
工学講座（JR西日本）
開催場所：TPKガーデンシティPREMIUM 広島駅前 参加者412名

〔「土木の日」および「くらしと土木の週間」関連行事：主催行事〕

- ・「夏休み親子見学会」（2025. 7. 19）

開催場所：天皇原トンネル工事現場 参加者：32名

- ・どぼくカフェ 「大きな機械が活躍するドボクの世界！」（2025. 7. 26）

講師：京都大学教授 高橋 良和 氏

開催場所：エースパック未来中心（鳥取県倉吉市） 参加者：48名

- ・土木ツアー ～夏休みだ！探検だ！工事現場の中を見てみよう!!～（2025. 7. 26）

開催場所：北条ジャンクション建設現場（仮称）（鳥取県北栄町） 参加者：48名

- ・「夏休み土木実験教室」（2025. 8. 1）

開催場所：呉ポートピアパーク陶芸室 参加者：36名

- ・第18回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」応募（～2025. 9. 17）

応募範囲（広島県・山口県・鳥取県・岡山県・島根県） 応募者：688名

- ・令和7年度選奨土木遺産認定式—宇都井高架橋（2025. 11. 22）

開催場所：邑南町三江線鉄道公園宇都井駅公園 参加者：約50名

- ・第18回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」表彰式・展示 - 島根（2025. 11. 16）

開催場所：松江市民活動センター交流広場 参加者：50名

- ・第18回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」展示（2025. 11. 25～12. 1）

開催場所：広島市まちづくり市民交流プラザ（広島市） 参加者：のべ約2,100名

- ・第18回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」表彰式（2025. 11. 30）

開催場所：広島市まちづくり市民交流プラザ（広島市） 参加者：50名

- ・第18回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」表彰式・展示 - 岡山（2025. 12. 6）

開催場所：JR岡山エキチカ広場 参加者：60名

- ・第18回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」展示（2026. 1. 16～2. 13）

開催場所：土木学会本部（東京都新宿区四谷） 参加者：のべ1,058名

- ・第18回「身近な土木を描いてみよう！図画コンクール」展示（2026. 2. 21～3. 12）

開催場所：山口県児童センター 参加者：約1,090名

〔「土木の日」および「くらしと土木の週間」関連行事：共催行事〕

- ・建設技術フォーラム2025 in ちゅうごく（2025. 10. 30～10. 31）

開催場所：広島産業会館東展示館（メイン会場、学生交流広場）、

広島市南区区民文化センタースタジオ（基調講演・セミナー）

中国技術事務所（特設会場）広島産業会館西展示館 参加者：約4400名

9. 研究奨励

①調査研究活動助成（A）上半期

- ・研究集会の名称：瀬戸内海研究連携勉強会

研究助成先：呉工業高等専門学校 准教授 中下 慎也

②調査研究活動助成（B）

- ・テーマ：今福線、三江線の鉄道遺構の保存活用をめざした実態調査及び維持管理の実施

研究助成先：岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域准教授 樋口 輝久

- ・テーマ：集団登校児童への交通安全教育と歩行位置・区間・環境等の安全性向上

研究助成先：徳山工業高等専門学校 准教授 目山 直樹

10. 表彰

① 令和7年度土木学会中国支部賞：3件

<中国地方の地域課題の解決に向け取り組んだ業務，あるいは技術の普及に貢献した業務>

受賞業績名：境港を基地とした「命のみなとネットワーク」

受賞者：国土交通省 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所

<中国地方の地域課題の解決に向け取り組んだ業務，あるいは技術の普及に貢献した業務>

受賞業績名：主要地方道 鞆松永線道路改良事業（鞆未来トンネル）

受賞者：広島県 土木建築局

<土木技術による中国地方の発展に寄与する著しい業績>

受賞業績名：山陰道（出雲IC～石見福光IC間）

受賞者：国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

② 第77回（令和7年度）土木学会中国支部研究発表会若手優秀発表者賞：28名（敬称略）

日時：令和7年6月14日（土） 場所：徳山工業高等専門学校

発表セッション		所属	名前
I-①	構造・数値解析	徳山工業高等専門学校	齊藤 遥奈
I-②	腐食・維持管理	山口大学	小西 峻太
I-③	地震・防災	鳥取大学	宮崎 雄大
II-①	開水路, 管路, 掃流力	呉工業高等専門学校	松本 京之助
II-②	土石流, 流砂, 河床変動	広島大学	宋 叡均
II-③	水文・気象, 数値解析, 波の水理	鳥取大学	山田 龍太郎
II-④	AI・機械学習・画像解析	岡山大学	品田 唯斗
II-⑤	水環境・水質・生態系	山口大学	花本 泰樹
II-⑥	河川の環境・計測・管理	鳥取大学	原 諒太
III-①	現地土・現地観測	広島大学	岡山 桃子
III-②	混合体・多孔質体	山口大学	武田 龍征
III-③	地盤改良・補強材	山口大学	稲垣 俊太郎
III-④	動的特性・強度特性	広島大学	升田 莉太
III-⑤	シミュレーション・解析	山口大学	余田 美月
III-⑥	水環境	山口大学	椿 永遠
IV-①	計画・防災	徳山工業高等専門学校	林 美宙
IV-②	計画・交通①	広島大学	靄園 真大
IV-③	計画・その他	徳山工業高等専門学校	工藤 瑞希
IV-④	計画・交通②	呉工業高等専門学校	山本 耀司
V-①	性能評価	山口大学	廣庭 龍真
V-②	副産物利用と性能評価	松江工業高等専門学校	桑原 慎太郎
V-③	新しいコンクリート技術	愛媛大学	金舛 育実
V-④	環境配慮材料と炭酸化技術	広島大学	福田 真湖
VI-①	施工・新技術	山口大学	児玉 稜
VI-②	点検・計測・維持管理	山口大学	水谷 洸太
VI-③	DX・合理化	徳山工業高等専門学校	齊藤 遥奈
VI-④	DX・三次元モデル	国土交通省中国地方整備局	棟田 龍史
VII-①	環境保全・水処理	山口大学	松尾 はな

③ 令和7年度土木学会優秀学生表彰：30校31名（敬称略）

学校名・学部名・学科名	学生氏名
岡山大学工学部工学科環境・社会基盤系都市環境創成コース	曾田 祐華
鳥取大学工学部社会システム土木系学科土木工学プログラム	安西 咲希
鳥取大学工学部社会システム土木系学科社会経営工学プログラム	若松 優都
広島大学工学部社会基盤環境工学プログラム	平井 恒輔
山口大学工学部社会建設工学科	椎木 拓海
広島工業大学工学部環境土木工学科	野上 侑輝
呉工業高等専門学校・環境都市工学科	末國 悠地
徳山工業高等専門学校・土木建築工学科	浜 七華
松江工業高等専門学校・環境・建設工学科	郷原 大聖
岡山県立岡山工業高等学校 土木科	高田 修豊
岡山県立笠岡工業高等学校・環境土木科	佐藤 飛蓮
岡山県立津山工業高等学校土木科	河本 悠生
岡山県立新見高等学校 工業技術科	大川 仁志
岡山県立高松農業高等学校農業土木科	添田 然斗
鳥取県立倉吉農業高等学校	仲野 琥珀
鳥取県立鳥取工業高等学校・建設工学科	松井 さくら
鳥取県立米子工業高等学校	西本 涼平
島根県立松江工業高等学校・建築都市工学科	伊藤 愛実
島根県立出雲農林高等学校	磯辺 波琉
島根県立益田翔陽高等学校・生物環境工学科	村田 大知
島根県立松江農林高等学校・環境土木科	伊達 蒼人
広島県立府中東高等学校・都市システム科	森 大輝
広島県立広島工業高等学校 土木科	檜高 紅子
広島県立西条農業高等学校 緑地土木科	織田 真実
広島県立庄原実業高等学校 環境工学科	宮本 風
山口県立徳山商工高等学校 環境システム科	橘高 佑弥
山口県立萩商工高等学校	井方 蓮
山口県立岩国工業高等学校都市工学科	松本 幸大
山口県立山口農業高等学校	竹並 遥斗
山口県立田布施農工高等学校 都市緑地科	青戸 律希
山口県立下関工科高等学校建設工学科土木コース	河崎 建琉

- ④ 第18回「身近な土木を描いてみよう！」図画コンクール：優秀賞：13名・佳作50名
 <優秀賞> (敬称略)

学校名	入賞	学年	氏名	作品名
広島市立神崎小学校	優秀賞	1年	寶専 凌	広電とJR
福山市立光小学校	優秀賞	2年	枝松 浩平	がんばれ！ショベルカー！
広島市立吉島東小学校	優秀賞	2年	末益 結菜	いもうとと、はしをみてる。
広島市立大芝小学校	優秀賞	3年	寺本 み月	大芝水門
広島市立段原小学校	優秀賞	4年	原田 純登	広島駅の路面電車ホーム
鳥取市立城北小学校	優秀賞	4年	中原 奈那	お父さんのくいうち機
広島市立亀山小学校	優秀賞	5年	島末 彩生	ドリルジャンボ
松江市立内中原小学校	優秀賞	5年	大塩 すずな	せきと谷とやさしい水
広島市立緑井小学校	優秀賞	6年	木口 穂香	大町駅
広島大学附属三原中学校	優秀賞	1年	小林 慶太	夏の大橋
岩国市立岩国中学校	優秀賞	2年	赤宗 龍生	電気をつくる場所
山口県立下関中等教育学校	優秀賞	2年	光部 麟一朗	絶景！角島大橋
岡山市立操山中学校	優秀賞	3年	奥村 唯純	トンネルのおこうは。

※佳作入賞者は割愛

11. 広報企画活動

- ① ホームページの更新
- ② facebookによる行事案内・行事報告
- ③ ニュースレターの発行
 - ・Vol. 40 (2025. 6. 14発行)
 - ・Vol. 41 (2026/2/27発行)
- ④ 賛助会員へのサービス向上企画
 - ・「技術相談室」案内
 - ・賛助会員1口につき5枚のテキスト無料券を配布
 - ・令和7年度（2025）支部研究発表会概要集配布
 - ・学会図書の正会員価格での購入
 - ・第18回「身近な土木を描いてみよう！」図画コンクール2026年カレンダー配布
 - ・行事案内などの送付

② 令和7年度 決算報告

貸借対照表

2026年 3月31日現在

公益社団法人 土木学会（統合領域）

中国

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,650,738	20,313,943	336,795
仮払金	2,514	2,514	0
前払金	1,870	0	1,870
流動資産合計	20,655,122	20,316,457	338,665
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	2,697,818	2,597,818	100,000
什器備品減価償却引当預金	489,684	417,909	71,775
記念事業積立預金	5,201,593	5,201,593	0
全国大会積立預金	6,746,936	6,746,936	0
地域貢献資金	22,233,407	22,556,978	△ 323,571
特定資産合計	37,369,438	37,521,234	△ 151,796
(3) その他固定資産			
什器備品	699,032	699,032	0
敷金	510,000	510,000	0
什器備品減価償却累計額	△ 489,685	△ 417,910	△ 71,775
その他固定資産合計	719,347	791,122	△ 71,775
固定資産合計	38,088,785	38,312,356	△ 223,571
資産合計	58,743,907	58,628,813	115,094
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	72,352	36,632	35,720
未払金	72,352	36,632	35,720
預り金	390,924	103,544	287,380
前受金	0	4,000	△ 4,000
賞与引当金	506,230	262,250	243,980
流動負債合計	969,506	406,426	563,080
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,697,818	2,597,818	100,000
固定負債合計	2,697,818	2,597,818	100,000
負債合計	3,667,324	3,004,244	663,080
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
（うち特定資産への充当額）	△ 640,205	△ 316,634	△ 323,571
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	55,076,583	55,624,569	△ 547,986
一般正味財産合計	55,076,583	55,624,569	△ 547,986
（うち特定資産への充当額）	△ 1,197,233	△ 1,269,008	71,775
正味財産合計	55,076,583	55,624,569	△ 547,986
負債及び正味財産合計	58,743,907	58,628,813	115,094

正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

公益社団法人 土木学会（統合領域）

中国

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	36,089	2,515	33,574
受取会費	1,380,000	1,320,000	60,000
事業収益	1,279,188	1,192,381	86,807
行事収益	1,079,188	992,381	86,807
支部行事収益	1,079,188	992,381	86,807
広告収益	200,000	200,000	0
受取負担金	526,000	495,000	31,000
雑収益	0	21,000	△ 21,000
雑収益	0	21,000	△ 21,000
経常収益計	3,221,277	3,030,896	190,381
(2) 経常費用			
事業費	8,386,642	6,992,845	1,393,797
職員給与	3,304,027	2,655,156	648,871
法定福利費	479,922	447,478	32,444
福利厚生費	3,100	3,100	0
退職掛金	60,000	52,020	7,980
退職給付費	50,000	50,000	0
水道光熱費	66,992	66,134	858
施設維持費	3,434	3,434	0
臨時雇人給	586,537	430,027	156,510
旅費交通費	692,480	592,230	100,250
備品消耗品費	400,853	543,075	△ 142,222
発送・通信費	332,305	305,112	27,193
手数料	20,648	19,045	1,603
賃借料	871,404	812,824	58,580
会議費	364,068	409,233	△ 45,165
広報宣伝費	128,048	84,484	43,564
報告書等製作費	335,940	52,800	283,140
謝金・賞金	168,101	129,238	38,863
システム等使用料	11,866	0	11,866
委託業務費	191,565	147,284	44,281
事業諸経費	0	30,000	△ 30,000
事務〇A化費	25,685	25,410	275
減価償却費	35,888	2,991	32,897
雑費	664	645	19
賞与引当金繰入	253,115	131,125	121,990
管理費	5,127,621	4,299,022	828,599
経常費用計	13,514,263	11,291,867	2,222,396
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,292,986	△ 8,260,971	△ 2,032,015
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 10,292,986	△ 8,260,971	△ 2,032,015

中国

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計から繰入	10,225,677	10,024,212	201,465
本部から繰入	9,745,000	9,905,352	△ 160,352
他会計から繰入	480,677	118,860	361,817
他会計への繰出	480,677	118,860	361,817
他会計への繰出	480,677	118,860	361,817
当期一般正味財産増減額	△ 547,986	1,644,381	△ 2,192,367
一般正味財産期首残高	55,624,569	53,980,188	1,644,381
一般正味財産期末残高	55,076,583	55,624,569	△ 547,986
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	55,076,583	55,624,569	△ 547,986

正味財産増減計算書内訳表

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

公益社団法人 土木学会 (統合領域)

(単位: 円)

科 目	法人会計	公益目的事業会計											
	法人会計(中国)	中国	公益事業共通(中国)	調査研究事業(中国)	学術講演会等事業(中国)	講習会等行事事業(中国)	全国大会事業(中国)	教育支援等事業(中国)	表彰事業(中国)	研究等助成事業(中国)	広報啓発事業(中国)	土木の日事業(中国)	周年記念事業(中国)
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
特定資産運用益	0	36,089	0	0	0	0	0	0	23,606	0	0	12,483	
受取会費	0	1,380,000	1,380,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業収益	0	1,279,188	0	0	1,222,000	0	0	0	0	0	57,188	0	
行事収益	0	1,079,188	0	0	1,022,000	0	0	0	0	0	57,188	0	
広告収益	0	200,000	0	0	200,000	0	0	0	0	0	0	0	
受取負担金	0	526,000	0	0	0	0	0	0	0	0	526,000	0	
経常収益計	0	3,221,277	1,380,000	0	1,222,000	0	0	0	23,606	0	583,188	12,483	
(2) 経常費用													
事業費	0	8,386,642	0	0	1,018,740	4,614,877	0	0	199,532	250,000	317,780	1,985,713	0
職員給与	0	3,304,027	0	0	0	2,973,626	0	0	0	0	0	330,401	0
法定福利費	0	479,922	0	0	0	431,932	0	0	0	0	0	47,990	0
福利厚生費	0	3,100	0	0	0	2,790	0	0	0	0	0	310	0
退職掛金	0	60,000	0	0	0	54,000	0	0	0	0	0	6,000	0
退職給付費	0	50,000	0	0	0	45,000	0	0	0	0	0	5,000	0
水道光熱費	0	66,992	0	0	0	60,293	0	0	0	0	0	6,699	0
施設維持費	0	3,434	0	0	0	3,091	0	0	0	0	0	343	0
臨時雇人給	0	586,537	0	0	274,380	278,012	0	0	0	0	0	34,145	0
旅費交通費	0	692,480	0	0	0	27,522	0	0	36,510	199,175	221,050	208,223	0
備品消耗品費	0	400,853	0	0	65,123	5,941	0	0	15,480	0	58,300	256,009	0
発送・通信費	0	332,305	0	0	30,584	77,327	0	0	27,070	0	0	197,324	0
手数料	0	20,648	0	0	4,855	11,006	0	0	330	825	430	3,202	0
賃借料	0	871,404	0	0	310,230	339,728	0	0	0	0	0	221,446	0
会議費	0	364,068	0	0	226,002	20,790	0	0	0	0	0	117,276	0
広報宣伝費	0	128,048	0	0	0	0	0	0	0	0	0	128,048	0
報告書等製作費	0	335,940	0	0	0	0	0	0	0	0	0	335,940	0
謝金・賞金	0	168,101	0	0	0	0	0	0	120,142	0	0	47,959	0
システム等使用料	0	11,866	0	0	11,866	0	0	0	0	0	0	0	0
委託業務費	0	191,565	0	0	95,700	0	0	0	0	50,000	38,000	7,865	0
事務〇A化費	0	25,685	0	0	0	23,117	0	0	0	0	0	2,568	0
減価償却費	0	35,888	0	0	0	32,300	0	0	0	0	0	3,588	0
雑費	0	664	0	0	0	598	0	0	0	0	0	66	0
賞与引当金繰入	0	253,115	0	0	0	227,804	0	0	0	0	0	25,311	0
管理費	5,127,621	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	5,127,621	8,386,642	0	0	1,018,740	4,614,877	0	0	199,532	250,000	317,780	1,985,713	0
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,127,621	△ 5,165,365	1,380,000	0	203,260	△ 4,614,877	0	0	△ 199,532	△ 226,394	△ 317,780	△ 1,402,525	12,483
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,127,621	△ 5,165,365	1,380,000	0	203,260	△ 4,614,877	0	0	△ 199,532	△ 226,394	△ 317,780	△ 1,402,525	12,483
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用													
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計から繰入	8,055,000	2,170,677	0	0	317,655	0	0	0	163,022	0	340,000	1,350,000	0
本部から繰入	8,055,000	1,690,000	0	0	0	0	0	0	0	0	340,000	1,350,000	0
他会計から繰入	0	480,677	0	0	317,655	0	0	0	163,022	0	0	0	0
他会計への繰出	0	480,677	0	0	0	0	0	0	0	480,677	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,927,379	△ 3,475,365	1,380,000	0	520,915	△ 4,614,877	0	0	△ 36,510	△ 707,071	22,220	△ 52,525	12,483
一般正味財産期首残高	21,880,728	33,743,841	13,420,256	△ 106,190	2,347,079	△ 14,176,385	6,578,480	16,390	△ 1,341,040	20,790,151	1,342,636	370,345	4,502,119
一般正味財産期末残高	24,808,107	30,268,476	14,800,256	△ 106,190	2,867,994	△ 18,791,262	6,578,480	16,390	△ 1,377,550	20,083,080	1,364,856	317,820	4,514,602
II 指定正味財産増減の部													
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 基金増減の部													
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	24,808,107	30,268,476	14,800,256	△ 106,190	2,867,994	△ 18,791,262	6,578,480	16,390	△ 1,377,550	20,083,080	1,364,856	317,820	4,514,602

財産目録

2026年 3月31日現在

公益社団法人 土木学会（統合領域）

中国

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	2,880	
	預金	普通預金	18,909,077	
		郵便振替	1,738,781	
	仮払金		2,514	
	支部前払金		1,870	
流動資産合計			20,655,122	
(固定資産) 特定資産	退職給付引当預金	広島銀行県庁支店	2,697,818	
	什器備品減価償却引当預金	広島銀行県庁支店	489,684	
	記念事業積立預金	広島銀行県庁支店	5,201,593	
	全国大会積立預金	広島銀行県庁支店	6,746,936	
	地域貢献資金	広島銀行県庁支店	3,828,236	
	地域貢献資金	広島銀行県庁支店	3,405,171	
	地域貢献資金	広島銀行県庁支店	15,000,000	
	その他固定資産	什器備品		699,032
		敷金		510,000
		什器備品減価償却累計額		△ 489,685
固定資産合計			38,088,785	
資産合計			58,743,907	
(流動負債)	未払金		72,352	
	預り金		390,924	
	源泉所得税		386,384	
	健康保管料		△ 12,540	
	厚生年金保険料		△ 23,180	
	雇用保険料		40,260	
	賞与引当金		506,230	
	管理費		506,230	
流動負債合計			969,506	
(固定負債)	退職給付引当金		2,697,818	
	事業管理費		500,000	
	管理費		2,197,818	
固定負債合計			2,697,818	
負債合計			3,667,324	
正味財産			55,076,583	

③ 令和7年度(2025)支部規程類の制定報告

中国支部研究発表会若手優秀発表者賞規程

【策定の理由】

これまで中国支部では、若手優秀発表者表彰に関して規程がなく、幹事会と相談の上、実施校の裁量にて選考をしてきた。

他支部をみると規程があり、全国大会や他支部の規程を参考に、新に中国支部若手優秀発表者賞規程を策定することとした。

(令和8年2月27日 制定)

(総則)

第1条 この規程は、土木学会中国支部研究発表会若手優秀発表者賞（以下「若手優秀発表者賞」という。）に関する事項を定める。

(表彰の対象)

第2条 若手優秀発表者賞は、土木工学の進歩または土木事業の進展に寄与することを目的とし、次の3つの要件を満たす研究者、技術者の中で本条第2項に該当する者に与えられる。

(1)当該年度の支部研究発表会開催時点において、土木学会個人会員である者、あるいは土木学会法人正会員、土木学会特別会員、土木学会中国支部賛助会員のいずれかである法人に所属する者

(2)当該年度の4月1日現在において35才以下である者

(3)講演者として登録し実際に発表を行った者

2 支部研究発表会における発表が簡潔明瞭で優れていると認められたもの。

(表彰方法)

第3条 受賞者の氏名、所属、講演題目を土木学会中国支部総会において発表するとともに、中国支部ホームページに掲載する。

2 受賞者には賞状を土木学会中国支部長名で授与する。

3 賞状の作成、ならびに中国支部ホームページへの掲載手続きは土木学会中国支部事務局が行う。

(選考方法)

第4条 優秀発表者賞受賞者は、支部研究発表会の選出上の留意事項に基づき、土木学会中国支部研究発表会実行委員会（以下「実行委員会」）において選考し決定する。

2 選出者は、本規則（採点基準）第6条に基づく採点結果を参考にして各セッションより1名の受賞候補者を選出する。ただし、きわめて優れた発表を行った者が複数認められる場合にはこの限りではない。また、適当な者がいない場合には、当該セッションにおいて優秀発表者賞候補者を選出しないことも可とする。

3 実行委員会の委員長は、選考し決定した受賞者の名簿を土木学会中国支部長に提出する。

(選出者)

第5条 受賞候補者は原則としてセッションごとに選出する。

2 審査員は当該セッションの座長が行う。

3 当該セッションの中に、座長と所属が同じ発表者が含まれる場合には、実行委員会があらかじめ指名した審査員1名が審査を行なう。

(採点および選出の基準)

第6条 審査員は、別に定める採点表および留意事項に基づいた次の4項目での採点を行い、受賞候補者1名を選出する。

(1)発表の分かり易さ

(2)スライドの良否

(3)発表時間

(4) 質疑への対応

- 2 採点の4項目それぞれについて、「きわめて優れている：3点」、「優れている：2点」、「普通：1点」、「劣っている：0点」の4段階（12点満点）で採点する。
- 3 4項目の合計点数が8点未満であった場合には受賞の対象外とする。
- 4 4項目の合計点数が11点以上かつ同点であった者が2名以上おり甲乙つけがたい場合には、特例として審査員によるコメントを付した上で複数名を受賞候補者として選出できる。

(規程の改正)

第7条 この規程は、土木学会中国支部商議員会の承認を経て変更することができる。

附 則

- 1 (令和7年2月27日 商議員会議決) この規程は、令和7年2月27日から施行する。

土木学会中国支部研究発表会優秀発表者賞選出上の留意事項

(令和8年2月27日 制 定)

1] 優秀発表者賞の採点はセッション毎に1名の選出者が行い、当該セッションの座長に選出者となつていただきます。ただし、当該セッションの中に座長と所属が同じ発表者が含まれる場合には、実行委員会が選出者を指名します。

2] 選出者は、発表技術に関して、3] および4] の基準に従つて優秀発表者賞候補者を選出して下さい。

3] 採点は、「分かり易さ」、「スライドの良否」、「発表・説明時間」、「質疑の対応」の4項目について、「きわめて優れている：3点」、「優れている：2点」、「普通：1点」、「劣っている：0点」の4段階（12点満点）で行つて下さい。

4] 採点に当たっては、以下の点を中心に評価して下さい。

① 「発表の分かり易さ」

- ・聴講者にとって分かり易い発表であったかどうか。
- ・聴講者にとって聞き取りやすい発表であったかどうか。
- ・内容を十分理解した上での発表であったかどうか。

② 「スライドの良否」

- ・スライドは丁寧に作成されたものであったかどうか。
- ・聴講者が理解しやすいように作成されたものであったかどうか。

③ 「発表時間」

- ・序論、本論、結論への配分が適切であったかどうか。
- ・発表時間が適切かどうか。原則として、指定された時間に対して1分以上超過した場合、あるいは不足した場合は0点の評価としてください。

④ 「質疑への対応」

- ・質問の内容を理解し、真摯に回答しようとする姿勢がみられたかどうか。
- ・指導教員や共著者などによる他者によるサポートを受けず、発表者自らが回答したかどうか。

5] 採点対象となるのは、講演申込フォームにおいて講演者（登壇者）とされている学会員の発表者（個人）で35才（当該年度の4月1日現在）以下の者です。

6] 優秀講演賞候補者は、原則として各セッションより1名とします。

ただし、4項目の合計点数が8点以上となる発表者がいなかった場合には、当該セッションにおける候補者をなしとします。また、4項目の合計点数が11点以上かつ同点であった者が2名以上おり甲乙つけがたい場合には、特例として複数名を受賞候補者として選出することも可能です。その場合には、セッションクローズの際に選定理由やこれらの発表に関するコメントを「別紙」に記載して提出ください。

【重要書類】事務局保管 個人情報有 司会者=>スタッフ=>総合受付へ持参

〇〇年度土木学会中国支部研究発表会 若手優秀発表者 採点用紙(同点の場合)

別紙1

部門：		時間： 場所：		座長		採点者氏名 名前(記入)：				
<ul style="list-style-type: none"> ● 採点は、「発表の分かり易さ」、「スライドの良否」、「発表時間」、「質疑への対応」の4項目について、「きわめて優れている:3点」、「優れている:2点」、「普通:1点」、「劣っている:0点」の4段階(12点満点)で行って下さい。 ● 合計点数が8点以上の発表者の中から最も点数が高い者を受賞候補者とし、候補者の欄に○印をつけてください。 → 合計点数が11点以上かつ同点の者が複数いる場合には、該当者全員を候補者として選出することも可能です。 その場合には、セッションクローズの際に選定理由や発表に関するコメントを本紙に記載して提出ください。 										
セッション番号： セッション内容： 会場参加者 約 ____人				採点結果(以下の項目について当てはまる評価に、3点~0点を記入して下さい)				合計 点数	候補者 (○印)	コメント
発表番号	登録発表者 氏名	発表者:○ 代理発表者:×	採点対象者 35才以下(○印) 非会員は除く	1. 発表の分 かり易さ	2. スライドの 良否	3. 発表時間	4. 質疑への 対応			
若手優秀発表者が11点以上の同点がいる場合に、該当者の発表番号等欄に記載した上、以下に選定理由や発表に関するコメントを具体的に記載してください。										

④ 令和8年度（2026）中国支部役員

1. 令和8年度支部長、副支部長、商議員

（敬称略）

役職名	氏名	所属及び職名
支部長	中田 幸男	山口大学大学院創成科学研究科教授
副支部長	藤田 士郎	広島県土木建築局局長
副支部長	堀口 至	呉工業高等専門学校環境都市工学分野教授
商議員	小野 祐輔	鳥取大学工学部社会システム土木系学科教授
商議員	比江島慎二	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域教授 （工学部工学科環境社会基盤系都市環境創成コース）
商議員	金田一智規	広島大学社会基盤環境工学プログラム教授
商議員 本部役員選考委員	伊藤 雅	広島工業大学工学部環境土木工学科教授
商議員	海田 辰将	徳山工業高等専門学校土木建築工学科教授
商議員	大屋 誠	松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授
商議員 本部役員選考委員	吉岡 大藏	国土交通省中国地方整備局企画部長
商議員	林 健太郎	国土交通省中国地方整備局港湾空港部長
商議員 本部役員選考委員	尾松 智	岡山県土木部土木部長
商議員	田宮 佳代子	山口県土木建築部長
商議員	吉野 睦	鳥取県県土整備部長
商議員	横尾 和博	島根県土木部長
商議員	石飛 和博	広島市道路交通局局長
商議員	難波 雅彦	岡山市都市整備局長
商議員 本部役員選考委員	水島 賢明	中国電力㈱執行役員 電源事業本部部長（再生可能エネルギー）
商議員	大塚 弘雅	西日本高速道路㈱ 中国支社 副支社長
商議員	佐藤 高通	本州四国連絡高速道路㈱しまなみ尾道管理センター所長
商議員	友道 康仁	広島高速道路公社理事長
商議員	田辺 深	西日本旅客鉄道㈱中国統括本部施設部部長
商議員	田中 智昭	清水建設㈱広島支店副支店長
商議員	川上 直也	㈱大林組広島支店工事部長
商議員	天野 景一郎	鹿島建設㈱中国支店専任役
商議員	周藤 浩司	中電技術コンサルタント㈱常務取締役
商議員	金 声漢	㈱エイト日本技術開発代表取締役社長
商議員	秋山 隆之	西日本高速道路エンジニアリング中国㈱ 常務取締役 土木事業本部長
商議員・理事	永禮 英明	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域教授
商議員・理事	吉岡 一郎	中国高圧コンクリート工業株式会社相談役

2. 令和8年度監査役

(敬称略)

監査役	丸山 昭義	大成建設(株)中国支店安全・環境部 部長 (担当)
監査役	小田 秀樹	復建調査設計(株)代表取締役会長

3. 令和8年度幹事長、幹事

(敬称略)

役職名	氏名	所属及び職名
幹事長	森 啓年	山口大学大学院創成科学研究科准教授
幹事	河野 勝宣	鳥取大学工学部社会システム土木系学科准教授
幹事	赤穂 良輔	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域准教授 (工学部工学科環境社会基盤系都市環境創成コース)
幹事	井上 隆	広島大学社会基盤環境工学プログラム助教
幹事	大東 延幸	広島工業大学工学部環境土木工学科准教授
幹事	中下 慎也	呉工業高等専門学校環境都市工学分野准教授
幹事	荒木 功平	徳山工業高等専門学校土木建築工学科准教授
幹事	三谷 卓磨	松江工業高等専門学校環境・建設工学科准教授
幹事	門脇 陽治	国土交通省中国地方整備局技術企画官
幹事	上野 太地	国土交通省中国地方整備局港湾空港部海洋環境・技術課長
幹事	小林 周平	広島県土木建築局道路企画課参事
幹事	奥野 祐輔	広島市道路交通局道路交通企画課課長
幹事	加藤 拓一郎	中国電力(株)電源事業本部マネージャー (再生可能エネルギー・土木総括)
幹事	田村 幸太郎	西日本高速道路(株)中国支社 総務企画部企画調整課課長
幹事	門田 整達	本州四国連絡高速道路(株)しまなみ尾道管理センター計画課長
幹事	竹岡 佳宏	広島高速道路公社技術管理課長
幹事	鈴木 秀門	西日本旅客鉄道(株)中国統括本部施設部課長
幹事	三木 浩	清水建設(株)広島支店 技術部 土木技術グループ グループ長
幹事	野中 雄一郎	(株)大林組広島支店営業部長
幹事	沼本 仁志	鹿島建設(株)中国支店支店土木工事管理部長
幹事	福永 佳裕	大成建設(株)中国支店土木室長
幹事	錦織 真樹	中電技術コンサルタント(株)総務企画本部 企画部長
幹事	早水 伸	(株)エイト日本技術開発広島支店長
幹事	橋本 佳典	復建調査設計(株) 経営管理本部副本部長
幹事	金谷 寛之	(株)荒谷建設コンサルタント部長
幹事	宮内 智昭	西日本高速道路エンジニアリング 中国(株) 取締役 経営企画本部企画部長
事務幹事	太田 遙子	山口大学大学院創成科学研究科助教

4. 令和8年度土木学会中国支部賞表彰委員会

(敬称略)

役職名	氏名	所属及び職名
委員長	中田 幸男	山口大学大学院創成科学研究科教授
幹事長	森 啓年	山口大学大学院創成科学研究科准教授
委員◎	小野 祐輔	鳥取大学工学部社会システム土木系学科教授
委員◎	比江島慎二	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域教授 (工学部工学科環境社会基盤系都市環境創成コース)
委員◎	金田一智規	広島大学社会基盤環境工学プログラム教授
委員◎	伊藤 雅	広島工業大学工学部環境土木工学科教授
委員◎	堀口 至	呉工業高等専門学校環境都市工学分野教授
委員◎	海田 辰将	徳山工業高等専門学校土木建築工学科教授
委員◎	大屋 誠	松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授
委員◎	吉岡 大藏	国土交通省中国地方整備局企画部長
委員○	河野 勝宣	鳥取大学工学部社会システム土木系学科准教授
委員○	赤穂 良輔	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域准教授 (工学部工学科環境社会基盤系都市環境創成コース)
委員○	井上 隆	広島大学社会基盤環境工学プログラム助教
委員○	大東 延幸	広島工業大学工学部環境土木工学科准教授
委員○	中下 慎也	呉工業高等専門学校環境都市工学分野准教授
委員○	荒木 功平	徳山工業高等専門学校土木建築工学科准教授
委員○	三谷 卓磨	松江工業高等専門学校環境・建設工学科准教授
委員○	門脇 陽治	国土交通省中国地方整備局技術企画官
委員○	上野 太地	国土交通省中国地方整備局港湾空港部海洋環境・技術課長
委員○	小林 周平	広島県土木建築局道路企画課参事
委員○	奥野 祐輔	広島市道路交通局道路交通企画課課長
委員○	加藤 拓一郎	中国電力(株)電源事業本部マネージャー (再生可能エネルギー・土木総括)
委員○	田村 幸太郎	西日本高速道路(株)中国支社 総務企画部企画調整課課長
委員○	門田 整達	本州四国連絡高速道路(株)しまなみ尾道管理センター計画課長
委員○	竹岡 佳宏	広島高速道路公社技術管理課長
委員○	鈴木 秀門	西日本旅客鉄道(株)中国統括本部施設部課長
委員○	三木 浩	清水建設(株)広島支店 技術部 土木技術グループ グループ長
委員○	野中 雄一郎	(株)大林組広島支店営業部長
委員○	沼本 仁志	鹿島建設(株)中国支店支店土木工事管理部長
委員○	福永 佳裕	大成建設(株)中国支店土木室長
委員○	錦織 真樹	中電技術コンサルタント(株)総務企画本部 企画部長
委員○	早水 伸	(株)エイト日本技術開発広島支店長
委員○	橋本 佳典	復建調査設計(株) 経営管理本部副本部長
委員○	金谷 寛之	(株)荒谷建設コンサルタント部長
委員○	宮内 智昭	西日本高速道路エンジニアリング 中国(株) 取締役 経営企画本部企画部長
事務幹事	太田 遙子	山口大学大学院創成科学研究科助教

※ 委員長：支部長・幹事長：支部幹事長・委員◎：支部商議員・委員○：支部幹事

※ 下線者は総会以降交代者

5. 令和8年度土木学会中国支部選奨土木遺産選考委員会

(敬称略)

エリア	氏名	所属及び職名
岡山県ブロック代表者	樋口 輝久	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域准教授 (工学部工学科環境社会基盤系都市環境創成コース)
鳥取県ブロック代表者	河野 勝宣	広島大学社会基盤環境工学プログラム助教
広島県ブロック代表者	井上 隆	広島大学社会基盤環境工学プログラム助教
山口県ブロック代表者	森 啓年	山口大学大学院創成科学研究科准教授
島根県ブロック代表者	三谷 卓磨	松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授
行政側代表者	門脇 陽治	国土交通省中国地方整備局技術企画官

- 1) 選考委員会に委員長をおき、委員長は委員の互選により決定する。

6. 令和8年度土木学会中国支部緊急災害調査対応委員会

(敬称略)

役職名	氏名	所属及び職名	
1 委員長	中田 幸男	山口大学大学院創成科学研究科教授	支部長
2 副委員長	森 啓年	山口大学大学院創成科学研究科准教授	幹事長
3 委員	河野 勝宣	鳥取大学工学部社会システム土木系学科准教授	
4 委員	赤穂 良輔	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域准教授 (工学部工学科環境社会基盤系都市環境創成コース)	
5 委員	井上 隆	広島大学社会基盤環境工学プログラム助教	
6 委員	三谷 卓磨	松江工業高等専門学校環境・建設工学科准教授	
7 委員	門脇 陽治	国土交通省中国地方整備局技術企画官	
8 委員	田村幸太郎	西日本高速道路(株)中国支社 総務企画部 企画調整課課長	
9 委員	鈴木 秀門	西日本旅客鉄道(株)中国統括本部施設部課長	
10 委員	三木 浩	清水建設(株)広島支店 技術部 土木技術グループ グループ長	
11 委員	錦織 真樹	中電技術コンサルタント(株)総務企画本部企画部長	

- 1) 土木学会中国支部災害緊急対応規則により、委員長は、支部長及び副支部長の中から支部長が指名し委嘱する。
- 2) 委員会の構成について、大学・高専は各県に1校、県をまたぐ組織として、国交省、西日本高速道路、中国電力、西日本旅客鉄道、建設関係の会社を選び、構成する。

※ 下線者は総会以降交代者

7. 令和8年度中国支部推薦本部委員

(敬称略)

役職名	氏名	所属及び職名
表彰委員	畠 俊郎	広島大学大学院先進理工系科学研究科教授
論文賞選考委員	赤松 良久	山口大学大学院創成科学研究科教授
環境賞選考委員	永禮 英明	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域教授
全国大会委員	野口 竜也	鳥取大学工学部准教授
会誌編集委員	木村善一郎	呉工業高等専門学校環境都市工学分野准教授

公益社団法人土木学会中国支部

〒730-0017

広島市中区鉄砲町 1-18 佐々木ビル 8F

事務局長 増村 浩子

電話 (082) 222-2376

FAX (082) 222-2496

E-mail: jsce-chugoku@citrus.ocn.ne.jp

<http://committees.jsce.or.jp/chugoku/>**公益社団法人土木学会**

〒160-0004

東京都新宿区四谷 1 丁目 外堀公園内

電話 (03) 3355-3441 (代表)

FAX (03) 5379-2769

<https://www.jsce.or.jp/>

⑤令和8年度（2026）事業計画

1. 令和8年度支部総会
 - ①令和7年度事業報告および決算報告
 - ②令和8年度本部役員および支部役員
 - ③令和8年度事業計画および収支予算
 - ④支部規程等の一部改正 他
2. 商議員会（2回を予定）
 - ①支部の事業計画及び予算
 - ②支部長候補者の選出及び推薦
 - ③副支部長、商議員及び監査役の選任又は解任
 - ④支部の規程等の制定及び改正
 - ⑤その他、支部運営に関する基本的事項
3. 幹事会（5回以内を予定）
4. 役員選出委員会（1回を予定）
5. 選奨土木遺産選考委員会（適宜）
6. 4学会災害協定連絡協議会(適宜)
7. 支部賞表彰委員会(適宜)
8. 支部行事
 - A) 支部研究発表) 開催：広島大学東広島キャンパス
 - B) 講演会・報告会・シンポジウム・講習会・その他
 - ①令和8年度工事報告会（地盤工学会担当）
 - C) インフラメンテナンス市区町村会議 担当：周南市
9. 土木の日関連行事
 - ①第19回「身近な土木を描いてみよう！」図画コンクール
(予定：作品募集：7月～9月、各地での作品展示：11月～、表彰式：11月～)
 - ②土木学会夏休み親子見学会
 - ③夏休み子ども土木実験教室
 - ④選奨土木遺産認定授与式
 - ⑤どぼくカフェ・土木ツアー
 - ⑥その他行事
10. 研究奨励
 - ①調査研究委員会 3件
 - ②調査研究活動助成 (A) 4件程度 (上半期2件・下半期2件)
 - ③調査研究活動助成 (B) 2件程度

11. 表彰

- ①令和8年度土木学会中国支部賞
- ②中国支部研究発表会若手優秀発表者賞：35名程度
- ③優秀学生表彰：35名程度
- ④第19回「身近な土木を描いてみよう！」図画コンクール：65名程度

12. 広報活動

- ①ホームページの更新
- ②facebook:シビルネット中国の更新
- ③ニュースレターの発行

13. 技術相談 随時受付

(賛助会員・インフラメンテナンスちゅうごく市区町村委員のみ)

⑥令和8年度(2026)予算

2026予算

2025年度 収支予算書 集計表
(中国支部)

自 2026年4月1日 至 2027年3月31日

単位:円、太字は実績、斜字は予算、%は実績/予算

区分	収支科目	合計	公益目的事業																	法人会計	内部取引消去								
			公1:調査研究事業				公2:講演会等事業				公3:表彰・助成事業				公5:広報・啓発事業			公益目的事業 共通	公益目的事業 合計										
			調査研究事業	公益受託事業	社会支援事業	小計	学術講演会等事業	講習会等行事事業	教育支援等事業	全国大会事業	周年記念事業	小計	表彰事業	研究等助成事業	小計	広報啓発事業	土木の日事業					小計							
事業活動 収支の部	1. 特定資産運用収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	2. 会費収入	1,350,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,350,000	1,350,000	0	0			
	3. 事業収入	1,250,000	0	0	0	1,100,000	150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,250,000	1,250,000	0	0		
	4. 補助金・負担金・寄付金収入	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000	300,000	0	0		
	5. 雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	6. 繰入金収入	9,745,000	1,452,000	0	1,100,000	2,552,000	531,588	2,818,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,413,588	8,055,000	△ 6,723,588	
	事業活動収入計 (A)	12,645,000	1,452,000	0	1,100,000	2,552,000	1,631,588	2,968,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,313,588	8,055,000	△ 6,723,588	
	1. 事業費	11,160,000	900,000	0	1,100,000	2,000,000	1,330,000	4,519,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,160,000	0	0	
	うち事業管理費	4,860,000	0	0	0	0	0	4,369,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,860,000	0	0	
	2. 管理費	4,834,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,834,000	0	0	
	3. 繰入金支出	△ 10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業活動支出計 (B)	15,984,000	900,000	0	1,100,000	2,000,000	1,330,000	4,519,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,500,000	7,969,500	△ 7,405,500	
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 3,339,000	552,000	0	0	552,000	301,588	△ 1,551,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 4,106,412	85,500	0		
投資活動 収支の部	1. 固定資産売却・敷金戻り収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	2. 特定預金 取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	引当預金取崩 (退職給付、減価償却)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	積立預金取崩 (記念事業、全国大会、 支部運営、地域貢献)	3,510,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,510,000	0	0	
	投資活動収入計 (D)	3,510,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,510,000	0	0	
	1. 固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2. 特定預金 支出	171,000	0	0	0	0	0	76,950	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85,500	85,500	0	
引当預金支出 (退職給付、減価償却)	150,000	0	0	0	0	0	67,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75,000	75,000	0		
積立預金支出 (記念事業、全国大会、 支部運営、地域貢献)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
投資活動支出計 (E)	171,000	0	0	0	0	0	76,950	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85,500	85,500	0		
投資活動収支差額 (F)=(C)-(D)	3,339,000	0	0	0	0	0	△ 76,950	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,424,500	△ 85,500	0		
当期収支 合計及び 次期繰越 収支差額	当期収入合計 (H)=(A)+(D)	16,155,000	1,452,000	0	1,100,000	2,552,000	1,631,588	2,968,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,823,588	8,055,000	△ 6,723,588	
	当期支出合計 (I)=(B)+(E)+(G)	16,155,000	900,000	0	1,100,000	2,000,000	1,330,000	4,595,950	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,505,500	8,055,000	△ 7,405,500	
	当期収支差額 (J)=(H)-(I)	0	552,000	0	0	552,000	301,588	△ 1,627,950	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 681,912	0	681,912	
	前期繰越収支差額 (K)	18,482,866	489,810	0	0	489,810	2,094,811	△ 10,821,468	16,390	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,682,306	1,171,845	16,582,021	729,000
	次期繰越収支差額 (L)=(J)+(K)	18,482,866	1,041,810	0	0	1,041,810	2,396,399	△ 12,449,418	16,390	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,682,306	489,933	16,582,021	1,410,912

土木学会中国支部会員

(1) 中国支部 会員数

(上段：2026年3月31日現在) (下段：2025年3月31日)

正会員		特別 会員	学生 会員	合 計	名誉 会員	フェロー 会員	賛助 会員
個 人	法 人						
1409	26	38	285	1758	17	45	43 口
1438	26	38	283	1785	18	50	43 口

※名誉会員とフェロー会員は、個人正会員に含む

(2) 法人会員・特別会員 (中国支部)

2026年3月31日現在 64団体

	級	会員種別名	学校企業名称
1	特級B	法人正会員	(株)大本組
2	1級A	法人正会員	中国電力(株)
3	1級A	法人正会員	アイサワ工業(株)
4	1級C	法人正会員	広成建設(株)
5	1級C	法人正会員	(株)エイト日本技術開発
6	1級C	法人正会員	中電技術コンサルタント(株)
7	1級C	法人正会員	復建調査設計(株)
8	1級C	法人正会員	極東興和(株)
9	1級C	法人正会員	SG エンジニアリング(株)
10	1級D	法人正会員	(株)トクヤマ
11	1級D	法人正会員	(株)ヒロコン
12	1級D	法人正会員	エム・エムブリッジ(株)
13	1級D	法人正会員	(株)ウエスコ 事業本部
14	1級D	法人正会員	(株)荒谷建設コンサルタント
15	1級D	法人正会員	(株)土木技術コンサルタント
16	1級D	法人正会員	西日本高速道路エンジニアリング中国(株)
17	1級D	法人正会員	豊国工業(株)
18	1級D	法人正会員	サン・ロード(株)
19	1級D	法人正会員	(株)計測リサーチコンサルタント
20	1級D	法人正会員	NEXCO 西日本コンサルタンツ(株)
21	1級D	法人正会員	(株)総合システム
22	1級D	法人正会員	蜂谷工業(株)

	級	会員種別名	学校企業名称
23	1級D	法人正会員	西尾レントオール(株) 西中国営業部
24	1級D	法人正会員	(株)日橋コンサルタント
25	1級D	法人正会員	新川センサテクノロジー(株)
26	1級D	法人正会員	(株)セトウチ
27	1級C	特別会員	清水建設(株)広島支店
28	1級C	特別会員	鹿島建設(株)中国支店
29	1級C	特別会員	大成建設(株)中国支店
30	1級D	特別会員	国土交通省(中国)中国技術事務所
31	1級D	特別会員	国土交通省(中国)広島港湾空港整備事務所
32	1級D	特別会員	国土交通省(中国)松江国道事務所
33	1級D	特別会員	国土交通省中国地方整備局企画部企画課
34	1級D	特別会員	国土交通省(中国)三次河川国道事務所
35	1級D	特別会員	国土交通省(中国)広島国道事務所
36	1級D	特別会員	国土交通省(中国)岡山河川事務所
37	1級D	特別会員	国土交通省中国地方整備局港湾空港部
38	1級D	特別会員	国土交通省(中国)広島港湾空港技術事務所
39	1級D	特別会員	国土交通省(中国)倉吉河川国道事務所
40	1級D	特別会員	国土交通省(中国)鳥取河川国道事務所
41	1級D	特別会員	国土交通省(中国)浜田河川国道事務所
42	1級D	特別会員	国土交通省(中国)福山河川国道事務所
43	1級D	特別会員	国土交通省(中国)出雲河川事務所
44	1級D	特別会員	国土交通省(中国)太田川河川事務所
45	1級D	特別会員	国土交通省(中国)宇野港湾事務所
46	1級D	特別会員	国土交通省(中国)山陰西部国道事務所
47	1級D	特別会員	国土交通省(中国)境港湾・空港整備事務所
48	1級D	特別会員	国土交通省(中国)岡山国道事務所
49	1級D	特別会員	国土交通省(中国)宇部港湾・空港整備事務所
50	1級D	特別会員	山口市
51	1級D	特別会員	鳥取県
52	1級D	特別会員	島根県
53	1級D	特別会員	広島県
54	1級D	特別会員	(株)奥村組 広島支店
55	1級D	特別会員	本州四国連絡高速道路(株)しまなみ尾道管理センター
56	1級D	特別会員	大成ロテック(株)中国支社
57	1級D	特別会員	東亜建設工業(株)中国支店
58	1級D	特別会員	(一財)広島県環境保健協会
59	1級D	特別会員	広島高速道路公社

	級	会員種別名	学校企業名称
60	1級D	特別会員	(公財)岡山県環境保全事業団
61	1級D	特別会員	西日本高速道路(株)中国支社
62	1級D	特別会員	(株)竹中土木 広島支店
63	1級D	特別会員	(株)大林組 広島支店
64	1級D	特別会員	広島県生コンクリート工業組合

(3) 中国支部 賛助会員

2026年3月31日現在 43団体 46口

名 称	名 称
(株)大建コンサルタント	中電技術コンサルタント(株)※
(株)アトラス	復建調査設計(株)※
(株)大屋ハイテック	(株)荒谷建設コンサルタント※
イズテック(株)	(株)福山コンサルタント中四国支社
(株)古川コンサルタント	八千代エンジニアリング(株)広島支店
(株)コスモ建設コンサルタント	大之木建設(株)
(株)ワールド測量設計	(株)巽設計コンサルタント
山陰開発コンサルタント(株)	宇部興産コンサルタント(株)
(株)ウエスコ	(株)陸地コンサルタント
(株)エイト日本技術開発	(株)東京建設コンサルタント
(株)なんば技研	やまこう建設(株)
(株)大本組	大成建設(株)中国支店
アイサワ工業(株)	前田建設工業(株)中国支店
(株)建設技術研究所中国支社	(株)奥村組広島支店
(株)ダイヤコンサルタント	清水建設(株)広島支店
(株)オリエントコンサルタンツ中国支店	五洋建設(株)中国支店
パシフィックコンサルタンツ(株)中国支社	ルーチェサーチ(株)
(株)R o o p e ' s	日本工営(株)広島支店
(株)荒木組	鉄建建設(株)広島支店
天野産業(株)	西松建設(株)中国支社
洋林建設株式会社	

注) ※は賛助会費2口

以上、41団体43口



公益社団法人 土木学会中国支部

〒730-0017

広島市中区鉄砲町 1-18 佐々木ビル 8F

TEL : (082) 222-2376 FAX : (082) 222-2496

E-mail : jsce-chugoku@citrus.ocn.ne.jp

<http://www.jsce.or.jp/branch/chugoku/>